

教 科	受験番号
福 祉	

岐阜県では、平成20年から、「障害」を「障がい」と表記することとしているが、国や県が定める法令に規定されている用語、名称等や団体、機関等の固有名称は「障害」の表記を用いることとしているため、本試験においては一部「障害」の表記のままでも出題している。

(1) 「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 福祉編」に記載されている科目「介護総合演習」について、(ア)～(オ)に適する語句の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

この科目は、福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、福祉に関する他の科目で学んだ知識と技術を統合し、課題解決に関する知識と技術を身に付け、介護実習、地域福祉や福祉社会の事例研究、調査などに必要な資質・能力を育成することを主眼としたものであり、従前と同様に福祉に関する学科における(ア)科目として位置付けている。

1 目 標

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の創造と発展に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 地域福祉や福祉社会について体系的・系統的に理解するとともに、関連する(イ)を身に付けるようにする。
- (2) 地域福祉や福祉社会に関する課題を発見し、(ウ)人に求められる倫理観を踏まえ解決策を探求し、(エ)な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) (オ)な社会の構築を目指して自ら学び、地域福祉や福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	原則履修	技術	職業	科学的	健全で持続的
②	学校設定	知識	職業	科学的	安全で国際的
③	原則履修	知識	職業	具体的	健全で持続的
④	学校設定	技術	社会	具体的	健全で持続的
⑤	原則履修	技術	社会	科学的	安全で国際的

(2) 産業構造の変化と人口移動について、(ア)～(オ)に適する語句の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

日本では、(ア)年代の高度経済成長の過程で、第一次産業に従事する人の割合が減少し、第二次産業、第三次産業に従事する人の割合が増加した。特に、第三次産業に従事する人の割合は増加し続けており、(イ)年の国勢調査では、初めてその割合が(ウ)%をこえた。また、近年の(エ)の発達は、人の働き方やライフスタイルに大きな影響を及ぼし、第四次産業革命と呼ばれる産業構造の変化を生み出している。従来、人が人を支援する介護分野では、技術革新の影響は少ないと考えられてきたが、(オ)を活用して介護者の負担を軽減したり、(エ)を活用して関係者で情報共有をしたりするなど、さまざまな面で大きな影響を与えている。

また、(ア)年代の高度経済成長により、日本国内では労働力不足が深刻になり、農村から都市部への人口移動が急激に進んだ。特に三大都市圏と呼ばれる東京、大阪、名古屋に人口が集中するようになり、現在では、日本の人口の約半数がこれらの地域に居住するようになってきている。こうした傾向は、(エ)の発達などにより、雇用の場が都市圏に限定されない状況が生まれてくることで、変化することも考えられる。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	1940	2000	70	医療技術	アセスメント
②	1960	2010	70	ICT	介護ロボット
③	1960	2000	80	医療技術	アセスメント
④	1980	2005	70	ICT	介護ロボット
⑤	1940	2010	80	ICT	介護ロボット

(3) 産業と地域社会の変化に関して、次の(ア)～(オ)の説明が適切であることを「○」、適切でないものを「×」として、その組み合わせの正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

(ア) 職住分離とは、自営業や農業などの従事者が、働く場所と住まいが近いのに対し、雇用者は働く場所と住まいが離れていることである。これにより、地域社会との関係が疎遠になる傾向がある。

(イ) 若い世代が大都市圏に流出する過疎地域では、支えあいの意識は比較的残っているものの、急激な人口減少と高齢化により、田畑の管理やさまざまな伝統行事にかかわる者が極端に不足し、地域社会の共同体としての機能を維持していくことが難しくなっている地域もある。

(ウ) 産業構造だけでなく、地域社会に大きな影響を及ぼしている社会の変化に、移動手段としての自動車の一般化(モータリゼーション)と道路交通環境の整備があげられる。こうした変化によって人々の生活は便利になる一方、自動車が中心になる社会のなかで、買い物弱者などの問題が大きくなっている。

(エ) 郊外に大規模な駐車場を備えた大型商業施設が相次いで出店するようになると、こうした店舗が客足を集め、商店街や繁華街がある中心市街地がすたれていく。商店街では店舗の多くが閉店し、自動車の運転が難しくなった高齢者などが、生活に必要な買い物ができないという状況が生じている。

(オ) 大規模小売店舗の事業を制限することにより、その周辺の中小小売業者を保護することを目的に制定された「大規模小売店舗における小売業の事業活動の調整に関する法律」(大規模小売店舗法)が2000年に廃止され、大型店の出店規制が緩和されたことで、郊外の大規模商業施設の出店が増加した。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	×	○	×	×	×
②	○	○	×	○	○
③	○	×	○	×	×
④	×	×	○	○	○
⑤	○	○	○	○	○

(4) 社会福祉に関する(ア)～(カ)の説明が適切であることを「○」、適切でないものを「×」として、その組み合わせの正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

(ア) 核家族世帯とは、夫婦のみの世帯、夫婦と未婚の子のみの世帯、ひとり親と未婚の子のみの世帯をいう。

(イ) 2016年時点で、日本の平均寿命と健康寿命の差は、男女共に5歳未満となっている。

(ウ) ソーシャル・インクルージョンとは、障害の有無や程度に関係なく、すべての人々が自らの希望する環境・条件で社会生活を送ることをめざす考え方である。

(エ) 社会福祉法では、社会福祉を目的とする事業の全分野における共通的基本事項や地域福祉の推進などについて規定している。

(オ) 支えあいのしくみの自助・共助・公助のうち、共助とは、法律と行政責任にもとづく社会福祉、社会保障制度による支援・給付・サービスをいう。

(カ) 現代の社会福祉は、社会生活上の困難や生きにくさを抱えている人々が住み慣れた地域で自立した生活ができることをめざしており、この自立生活支援においては、ADL（日常生活動作）の向上のみならず、QOLの維持・向上という視点がきわめて重要である。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)
①	×	○	×	×	×	×
②	○	○	×	○	○	○
③	○	○	○	×	○	×
④	○	×	×	○	×	○
⑤	×	×	○	○	×	○

(5) イギリスにおける社会福祉に関する説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① イギリスでは、16世紀以降、貧困問題などに対する地域での取り組みは、エリザベス救貧法（1601年）の成立により、国家の取り組みとして救貧制度に集約された。また、救済の場として、ワークハウス（労役場、救貧院）が用いられた。
- ② イギリスのセツルメント運動は、宗教的な動機にもとづく運動で、この運動により、すべての国民に対して無料の医療サービスを提供する制度の整備が行われるようになった。
- ③ ピーター・タウンゼントは、イギリス社会経済の低迷を打破するために、個人責任・自努力の強調、市場重視、民営化の推進等を行った。
- ④ ウィリアム・ベヴァリッジは、児童、高齢者、障害者などそれぞれ個別の部局によって分離されていた福祉サービスの体制を地方自治体の社会サービス部に一元化した。
- ⑤ 1988年にコミュニティケアについて、シーボーム報告がまとめられ、NHSならびにコミュニティケア法（1990年）として制度化され、ケアマネジメントのしくみがつくられた。

(6) 次の説明文に適する人物を、①～⑤の中から一つ選べ。

アメリカの慈善活動家で、COSの活動を行うなかで得た経験をもとに、対人援助の方法や技術を体系化し、現代のソーシャルワークに関する援助技術の基礎をつくった。

- ① トニー・ブレア
- ② エド・ロバーツ
- ③ メアリー・リッチモンド
- ④ ベンクト・ニリエ
- ⑤ エスピン・アンデルセン

(7) 戦後の日本における障害者福祉の歴史に関する次の内容を、時代の古いものから並べた時に、3番目になるものを①～⑤の中から一つ選べ。

- ① 身体障害者福祉法の制定
- ② 精神衛生法を精神保健法に名称変更
- ③ 心身障害者対策基本法の制定…障害者福祉施策の総合的な推進
- ④ 障害者虐待防止法の制定…虐待防止のための体制整備
- ⑤ 国民年金法の制定…障害基礎年金を制度化

kyosai-guild

(8) 次の (ア) ～ (オ) の説明文に適する語句を語群から選び、その組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

(ア) 同じような悩みや課題を持つ人々が集い、その課題の解決に向けてミーティングや勉強会、行事などを行うこと。

(イ) 何らかの支援が必要であるにもかかわらず、自ら支援を求めない人に対して、支援者や支援機関の側からのかかわりや働きかけを行う。相談者が窓口に来るのを待つのではなく、訪問などによって潜在的な利用希望者に対して福祉サービスなどの利用を働きかけること。

(ウ) さまざまな支援を必要とする人が、ひとつの場所で相談や手続きができるようにすること。

(エ) 加齢と共に心身の活力（運動機能や認知機能など）が低下し、複数の慢性疾患などの影響もあり、生活機能が障害され、心身の脆弱性が出現した状態。

(オ) 本人が自分自身の本来持っている力に気づき、それをいながら自らが置かれている状況を変革していくことができるように支援すること、およびその理念。

【語群】

- | | |
|----------------|----------------|
| (A) ワンストップ | (B) エンバロメント |
| (C) フレイル | (D) フォロワーシップ |
| (E) アウトリーチ | (F) グループダイナミクス |
| (G) セルフヘルプグループ | (H) セルフネグレクト |

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	(G)	(C)	(A)	(H)	(B)
②	(A)	(E)	(B)	(H)	(D)
③	(F)	(C)	(D)	(E)	(G)
④	(G)	(E)	(A)	(C)	(B)
⑤	(F)	(D)	(A)	(C)	(B)

(9) 特別支援教育に関する (ア) ~ (オ) の説明が適切であるものを「○」、適切でないものを「×」として、その組み合わせの正しいものを、次の①~⑤の中から一つ選べ。

(ア) 戦後、学校教育法のなかで特殊教育と位置づけられていた障害児教育は、2006年の学校教育法の改正により、2007年から特別支援教育として取り組まれている。

(イ) 特別支援教育の大きな特徴は、注意欠陥多動性障害 (ADHD) や高機能自閉症などの発達障害も対象となったことである。それまで、通常教育と別の場で行われてきた特殊教育を転換し、特別支援教育では通常学校や通常学級のなかでも特別な支援を必要とする児童・生徒に即した教育が行われることを目標としている。

(ウ) 特別支援教育の背景には、1994年にスペインで採択されたサラマンカ声明や、2006年に国連で採択され、日本では2014年に批准された障害者権利条約の考え方が大きく影響している。

(エ) 2007年から従来の盲学校・聾学校・養護学校は障害の種類にとらわれない特別支援学校に転換された (障害種別の一元化)。また、障害の状態が重く通学して教育を受けることが困難な場合、教員が家庭や医療機関を訪問する訪問教育も行われている。現在の特別支援学校は地域のセンターとしての機能も期待されており、近隣の幼稚園や小学校、中学校などから相談に応じることとされている。

(オ) 文部科学省「特別支援教育資料(2017年度)」によると、特別支援学校高等部を卒業した生徒のうち、全体の3割が社会福祉施設に入所・通所しサービスを受けている。また、全体の4割は職業能力開発学校などの職業訓練を行う施設に通っている。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	○	×	×	×	×
②	×	○	○	○	○
③	×	×	○	○	○
④	○	○	×	×	○
⑤	○	○	○	○	×

(10) 介護保険制度に関する(ア)～(オ)の説明の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

(ア) 医師、歯科医師、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士が自宅を訪問し、療養上の指導・管理や助言を行うこと。

(イ) 自宅で生活する際に必要となる車いすやベッド、移動用リフトなどの貸与（レンタル）の費用を給付対象とすること。

(ウ) 自宅で生活する際の介護に関する継続的な相談に応じると共に、利用する介護サービスなどを明示した介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、その利用の仲介などを行うこと。

(エ) 一定の要件を満たした有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などの入居者に対し、介護や日常生活上の世話、機能訓練などを行うこと。

(オ) 要支援者・事業対象者の相談に継続的に応じ、必要なサービスを明示する介護サービス計画（ケアプラン）を作成して、そのサービスの利用の仲介などを行うこと。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	居宅療養管理指導	特定福祉用具販売	居宅介護支援	特定施設入居者生活介護	訪問型サービス
②	訪問看護	福祉用具貸与	訪問介護	訪問リハビリテーション	訪問型サービス
③	居宅療養管理指導	福祉用具貸与	居宅介護支援	特定施設入居者生活介護	介護予防ケアマネジメント
④	居宅療養管理指導	福祉用具貸与	訪問介護	訪問リハビリテーション	介護予防ケアマネジメント
⑤	訪問看護	特定福祉用具販売	訪問介護	特定施設入居者生活介護	介護予防ケアマネジメント

(11) 介護における専門職の役割として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① 介護支援専門員は、不特定多数の人に対する反復継続する医行為や医療に関する指示を行う。
- ② 介護福祉士が中心となり、他職種や利用者・家族とともに介護サービス計画（ケアプラン）を作成する。
- ③ 看護と介護は患者や利用者の日常生活の介護を担うため、看護における「療養上の世話」との役割分担については、サービス提供機関などにより違いがある。たとえば、デイサービスでは、看護師が血圧などのバイタルサインを測り、介護従事者が入浴介助を行うが、訪問入浴では看護師も入浴介助を行う。
- ④ 理学療法士や作業療法士などと連携・協働はなくとも、介護職同士の連携・協働を密にし、実際の生活場面での実行情況を把握すれば、リハビリテーションの効果を発揮することができる。
- ⑤ 歯科衛生士や栄養士は、リハビリテーションの専門職である保健師と共に、口腔ケア、嚥下機能向上等の課題にチームとして取り組んでいる。

(12) 誤嚥を防ぐために好ましい食品を、次の①～⑧の中から二つ選べ。

- ① 海苔 ② ひき肉 ③ まぐろのたたき ④ から揚げ ⑤ とろろいも
- ⑥ 唐辛子 ⑦ ごぼう ⑧ こんにゃく

(13) 高齢者・障害者の衣類・寝具の衛生管理に関する(ア)～(オ)の説明が適切であるものを「○」、適切でないものを「×」として、その組み合わせの正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

(ア) 高齢者や障害者に適した衣類は、ゆったりしていてからだを圧迫しないもの、着脱がしやすいもの、寝ている間に裾がはだけにくく、しわがでにくいものである。

(イ) からだが不自由で寝たきりの状態であっても、衣類は汚れるものである。洗濯が十分な寝衣の連続着用は、皮膚の炎症を起こすこともあるので、こまめに洗濯する必要がある。

(ウ) 冬物のウールやカシミアなどの衣服には防虫剤を利用し、大切な衣類を虫から守ることも重要な衣類の管理である。

(エ) 寝具は寝ている間に分泌される汗や皮脂、垢などの他、失禁により汚れることもある。衣類のように簡単に洗濯できるものではないが、10日に1度は乾燥させ、必要に応じてクリーニンングを利用することも必要である。

(オ) シーツは吸湿性に優れている綿素材のものより、透湿性があり、保温効果の高いものが望ましい。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	○	○	×	○	×
②	○	○	○	×	×
③	×	×	○	○	○
④	×	○	×	×	○
⑤	○	×	○	×	×

(14) 次の(ア)～(ク)に適する語句の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

生体リズムを整えるためには、起床、睡眠のリズムが毎日同じになるように調整することや、体温調節をすることが大切である。日中は交感神経が優位に働くため、就寝前に、副交感神経を優位にするために(ア)のお湯にゆっくり入ることも有効である。

良質な睡眠を得るためには、寝室の環境を整えることが大切である。騒音がなく、夏季は温度25℃前後、湿度50～60%、冬季は温度(イ)℃、湿度50%、寝床内は温度(ウ)℃前後、湿度50%程度が適切である。また、(エ)系統の色彩は交感神経を優位にするため、カーテンなどを(オ)色系にし、副交感神経が優位になるような工夫も安眠につながる。

心配ごとやストレスで不眠を訴える人は増えている。軽い運動をしたり、安らかな眠りにつながる(カ)の分泌を促進するバナナや牛乳を摂取したり、アロワテラピーやマッサージでリラクゼーションしたりするのも効果的である。

夕方から夜、特に布団に入ってから、脚がむずむずして眠れないという症状がある。ふくらはぎや足の甲、足裏に不快感が生じ、人によっては足を切断してほしいと思うくらい症状が強い。多くの人にはアリやミミズなどが動き回っているような感覚を訴えており、入眠中には、無意識に脚を動かしたり、床にこすりつけたりしている。原因はわかっていないが脳内の(キ)の欠乏や(ク)の合成異常などが考えられている。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	(キ)	(ク)
①	熱め	10～15	18	赤	青	メラトニン	鉄分	ドーパミン
②	ぬるめ	18～23	33	赤	青	メラトニン	鉄分	ドーパミン
③	熱め	18～23	33	赤	青	メラトニン	亜鉛	ドーパミン
④	ぬるめ	10～15	18	青	赤	ドーパミン	亜鉛	メラトニン
⑤	熱め	10～15	33	青	赤	ドーパミン	亜鉛	メラトニン

(15) 子ども家庭福祉に関する内容について最も適切なものを、次の①～⑤の中から二つ選べ。

- ① 児童相談所は、子どもを一時的に家庭から離して保護する権限が与えられている。保護された子どもは、児童相談所に併設された一時保護所や一時保護委託を受けた児童福祉施設などで安全が確保された状態に置かれる。
- ② 児童相談所で受けた相談については、児童福祉司による社会診断、児童心理司による心理診断、医師による医学診断などをもとに協議・判定が行われ、子どもや家庭に対する援助の指針が決定される。
- ③ 市町村に設置される要保護児童対策地域協議会とは、虐待を受けた子どもをはじめとする要保護児童の早期発見、早期保護を目的として2000年の児童虐待防止法の施行により法定化された。児童福祉関係者だけでなく医療機関、幼稚園、教育委員会などの関係機関が構成員となっている。現在はほぼすべての自治体に設置されている。
- ④ 認定こども園は、2003年の「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律（認定こども園法）」により設置が規定され、その後、2012年に子ども・子育て関連3法が成立した際に法改正が行われた。
- ⑤ 児童自立支援施設とは、犯罪や不良行為をした、もしくはその恐れのある児童や、生活指導を要する児童を入所または通所させ、必要な指導を行って自立を支援する児童福祉施設である。日本全国に約200か所ある。

(16) 筋肉と腱について、(ア)～(オ)に適する語句の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

骨格筋は200種類以上あり、重さは体重の約(ア)%を占めている。骨格筋はからだを動かす筋肉であり、自分で動かすことができる。これを(イ)という。

筋肉の両端には腱があり、腱は骨に結合して筋肉の収縮力を骨に伝え関節が動く。たとえば上腕二頭筋が収縮すると肘が屈曲し、上腕三頭筋が収縮すると肘は伸びる。また上腕二頭筋と上腕三頭筋は逆のはたらきがあるので(ウ)と呼ばれる。骨格筋には、ミオグロビンなどのタンパク質が多い赤筋とそれらが少ない白筋があり、筋によってその割合が異なる。赤筋は長時間運動することが可能だがすばやく収縮できない(エ)である。一方、白筋は瞬発力に優れているが持久力はない(オ)である。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	50	伸筋	随意筋	遅筋	速筋
②	50	随意筋	拮抗筋	遅筋	速筋
③	80	拮抗筋	屈筋	速筋	遅筋
④	80	屈筋	伸筋	遅筋	速筋
⑤	80	随意筋	拮抗筋	速筋	遅筋

(17) 視覚に関する (ア) ~ (オ) の説明が適切であることを「○」、適切でないものを「×」として、その組み合わせの正しいものを、次の①~⑤の中から一つ選べ。

(ア) 水晶体によって集められた周囲の物体の像は網膜に映し出される。

(イ) ある物体をじっと見つめた時、その物体の像は黄斑と呼ばれる部分の中央にある中心窩に映る。

(ウ) 網膜には杆体と錐体の2種類の視細胞がある。杆体細胞は明暗を感知し、錐体細胞は明るい場所で色を感知する。錐体細胞は黄斑に多く集まっており、そこに映った像を感知し反応する。反応した視細胞は視神経に信号を送る。視神経は1か所に集まって束になる。

(エ) 視神経の集まる部分を視神経円板といい、この部分は視細胞を欠くため、物体の像に反応して、見えない部分 (盲点) を生じる。

(オ) 視覚は光に対する感覚であり、眼球及び視神経が関与する。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	×	○	○	○	×
②	○	○	×	○	○
③	×	×	×	×	○
④	○	×	○	×	×
⑤	○	○	○	×	○

(18) 泌尿器系のしくみについて、次の(ア)～(オ)の説明が適切であることを「○」、適切でないものを「×」として、その組み合わせの正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

(ア) 尿道は膀胱内の尿を体外に排せつする管であり、男女でその形態・長さが著しく異なる。男性は約15～20cm、女性は約3～4cm程度である。

(イ) 腎小体は尿細管につながり、ネフロンと呼ばれる腎臓の機能的・構造的な細小単位を構成している。ネフロンは尿を生成する機能を持ち、一つの腎臓に約10万個ある。

(ウ) 糸球体の血液は、ボーマン嚢でろ過され原尿が生成され、細尿管内に入るが、そこでブドウ糖などの必要な成分が毛細血管に再吸収され、それ以外の老廃物が集尿管を経由して、腎盂に集まり尿となる。

(エ) 膀胱は尿を一時的にためる袋状の臓器である。左右の尿管口と内尿道口で囲まれた部分を膀胱三角という。膀胱の筋肉は平滑筋でできており排尿筋といわれる。内尿道口には不随意筋の内尿道括約筋がある。

(オ) 尿管は蠕動運動で尿を膀胱に流しているが、そのはたらきは微弱であり、膀胱内圧が低くなる状態が続くと膀胱から逆流する場合がある。これを尿管逆流現象といい、腎盂腎炎などの原因となる。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	×	○	×	×	×
②	○	○	○	○	○
③	○	×	○	×	○
④	○	×	○	○	×
⑤	○	○	×	×	×

(19) 仰臥位の時に褥瘡ができやすい部位の組み合わせとして適切なものを、①～⑤の中から一つ選べ。

①	踵骨部	肋骨部	肘頭部	肩甲骨部	肩峰突起部
②	踵骨部	仙骨部	肘頭部	肩甲骨部	後頭部
③	耳介部	仙骨部	腸骨部	肩甲骨部	肩峰突起部
④	耳介部	肋骨部	肘頭部	大転子部	後頭部
⑤	踵骨部	仙骨部	腸骨部	大転子部	後頭部

kyosai-guild

(21) 死後の身体的変化について、次の(ア)～(オ)の説明が最も適切であることを「○」、適切でないものを「×」として、その組み合わせの正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

(ア) 呼吸停止、心拍の停止の2兆候によって、医師が死亡を判定する。

(イ) 死亡直後は筋の緊張がなくなり弛緩するが、その後全身の硬直が始まる。死後2～3時間後に顎関節から始まり、夏は死後2日、冬は4日くらいで緩解する。

(ウ) からだの熱産生が停止し、体温が低下する。四肢から始まり全身に及ぶ。

(エ) 血流が停止し、重力によりからだの下部の皮膚に黒緑色の死斑が現れる。

(オ) 臓器の化学的融解、細胞の崩壊が起こった後、バクテリアにより組織が破壊され、腐敗する。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	×	○	○	×	○
②	○	○	×	○	○
③	○	×	○	×	×
④	×	×	○	○	○
⑤	○	○	×	×	×

(22) 脳血管性認知症について、(ア)～(オ)に適する語句の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

原因となる疾患は、(ア)が大部分を占めるが、頭蓋内の出血や脳血流の低還流状態によるものもある。また、脳血管障害の発作がなくても、高血圧症などが原因で発症する場合もある。この病気の危険因子としては、高血圧、(イ)、脂質異常症、心房細動などがあげられる。

症状は、記憶障害、自発性の低下、意欲の低下、(ウ)などであり、それらの症状が急に悪化したり、階段状に進行することがある。よい部分と悪い部分があるため、まだら認知症とも呼ばれる。

この認知症では、アルツハイマー型認知症に比べて言語障害は少なく、(エ)、うつ症状、不安が多いなど感情にかかわる症状が特徴とされる。

この認知症の検査には、(オ)や頭部CTが有用である。根本治療薬はないが、症状を悪化させないように、降圧剤や脳血流改善剤の投与、抗血小板療法を行う。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	脳神経変性疾患	糖尿病	無関心	運動不足	MRI
②	脳梗塞	睡眠障害	視力低下	運動不足	アミロイドPET検査
③	脳梗塞	糖尿病	無関心	感情失禁	MRI
④	脳梗塞	糖尿病	無関心	運動不足	アミロイドPET検査
⑤	脳神経変性疾患	睡眠障害	視力低下	感情失禁	MRI

(23) 障害の概念について、(ア)～(オ)に適する西暦年を語群から選び、その組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

(1) (ア) 年5月に、世界保健機関は障害を理解する世界共通のモデルとして国際生活機能分類 (ICF) を承認した。これは1980年に発表された国際障害分類 (ICIDH) を改訂したもので、環境因子の導入、生物レベル、個人レベル、社会レベルにおける中立的な表現の使用、それぞれのレベルが健康状態や環境因子および個人因子の影響を受けることを表している。

(2) (イ) 年8月の障害者基本法の改正では、障害者は「身体障害、知的障害、精神障害 (発達障害を含む。) その他の心身の機能の障害がある者であつて、障害及び社会的障壁により継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にあるもの」と定義された。

(3) 1981年の国際障害者年のテーマである「完全参加と平等」に代表される障害者福祉の理念が発達するなかで、(ウ) 年12月に障害者基本法が成立した。

(4) 2004年5月、障害者基本法が改正され、その目的に「障害者の自立及び社会参加の支援等」の促進、基本的理念には「障害者差別禁止に関する規定」が示された。また、国に「障害者基本計画」、都道府県に「障害者計画」の策定が義務づけられ、8つの施策が提示された。この法の理念にもとづいて、(エ) 年10月には障害者自立支援法が成立することになった。

(5) (オ) 年には、発達障害という概念が新たに規定され、発達障害者支援法が成立した。

【語群】

- (A) 1981 (B) 1987 (C) 1993 (D) 1997
 (E) 2001 (F) 2004 (G) 2005 (H) 2011

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	(F)	(G)	(B)	(H)	(E)
②	(E)	(G)	(A)	(H)	(F)
③	(A)	(H)	(C)	(G)	(E)
④	(A)	(G)	(B)	(F)	(D)
⑤	(E)	(H)	(C)	(G)	(F)

(24) からだのしくみについて、(ア)～(オ)の説明が適切であることを「○」、適切でないものを「×」として、その組み合わせの正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

(ア) 耳の奥にある器官は、外耳、中耳、内耳の3つの部分に分かれ、外耳を伝わった音は鼓膜を振動させ、中耳に存在する耳小骨であるツチ骨・キヌタ骨・アズミ骨によって増幅され内耳に伝達される。

(イ) 味覚は、味に対する感覚であり、舌の粘膜にある味蕾で感知する。味蕾には味細胞という感覚細胞があり、口のなかで食べ物などの成分が水にとけ、化学物質が味細胞を刺激すると興奮して信号を脳に送る。甘味、酸味、塩味、苦味、うま味の5つが基本味とされている。

(ウ) 免疫が過敏に生じ、じん麻疹や粘膜の炎症(くしやみ・鼻水・かゆみ)が生じる状態をアレルギーという。花粉や埃などアレルギーを引き起こす原因物質であるアレルギーの侵入によってマスト細胞からヒスタミンという化学物質が放出されることで生じる。

(エ) ホルモンを分泌する組織には、視床下部、脳下垂体、甲状腺、副甲状腺(上皮小体)、膵臓、副腎、卵巣や精巣、胎盤などがある。

(オ) 副腎は髄質と皮質に分けられる。髄質からは鉱質コルチコイド、糖質コルチコイドが分泌され、皮質からはアドレナリンやノルアドレナリンが分泌される。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	×	○	×	×	×
②	○	×	○	○	○
③	○	○	○	○	×
④	×	×	×	○	○
⑤	○	○	×	×	×

(25) 感染予防の基礎知識として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① 滅菌は感染症を防げる程度まで病原体を殺し、病原体を減らすことである。消毒は熱や薬品などによりすべての病原体を完全に死滅させ取り除くことである。
- ② ノロウイルスなどの感染性胃腸炎が発症した時は、物品は50℃のお湯で洗って高温の乾燥機で処理する。
- ③ 感染症法では、38.0℃以上を発熱、38.5℃以上を高熱と定めている。
- ④ 汗を除くすべての血液、体液、分泌物、損傷のある皮膚、粘膜は感染性病原体を含む可能性があるという原則にもとづき、手指衛生や個人防護具（マスクやガウンなど）の着用など感染リスクを減少させる予防策を、スタンダード・プリコーションという。
- ⑤ 次亜塩素酸ナトリウムは素材や皮膚にダメージを与えることはないので、嘔吐物を拭き取る場合など、原液のまま使用してもよい。

kyosai-guild

令和5年度採用 岐阜県公立学校教員採用選考試験
第1次選考試験 高等学校 福祉

問題番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
正解	①	②	⑤	④	①	③	③	④	⑤	③

問題番号	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
正解	③	③⑤	②	②	①②	②	⑤	④	②	⑤

問題番号	21	22	23	24	25
正解	①	③	⑤	③	④

kyosai-guild